

（配布先）

支店長・副支店長
施工担当部署長、建設所長
副部長、副所長、統括工事長
安全長・安全主任
工事長・工事主任
関西支店取引業者災害防止協議会

関西支店
安全環境部長

踏み抜きによる墜落災害防止の再徹底について（指示）

先日、他支店の改修工事作業所で、サブエントランス2階屋上で足場の組立てを行っていた
鳶工（19歳、経験1年）が、トップライトガラス（網入型板ガラス、厚さ6.8mm 1.4m×2.6
m）を踏抜いて約5m墜落するという災害が発生しました。幸い臀部の打撲程度で済みまし
たが、重篤な状態になっても不思議ではない事案です。（別紙1参照）

詳細な原因については調査中ですが、作業床として不適切なガラスに足を掛けたことによ
るものであり、あってはならない事案です。

当社における同種の墜落災害としては、平成23年7月に、既存建物の折版屋根上で足場材を
運搬中、トップライト（網入型板ガラス、厚さ6.8mm）を踏み抜き、約11m墜落し死亡する
という災害が発生しており（別紙2、3参照）、今年度も左官工がスレート屋根を踏み抜き墜落
するという事案があったばかりです。（別紙4参照）

つきましては、トップライト及びスレート屋根等の踏み抜きによる同種の墜落災害を防止す
るため、下記事項を作業所関係者に再徹底させてください。

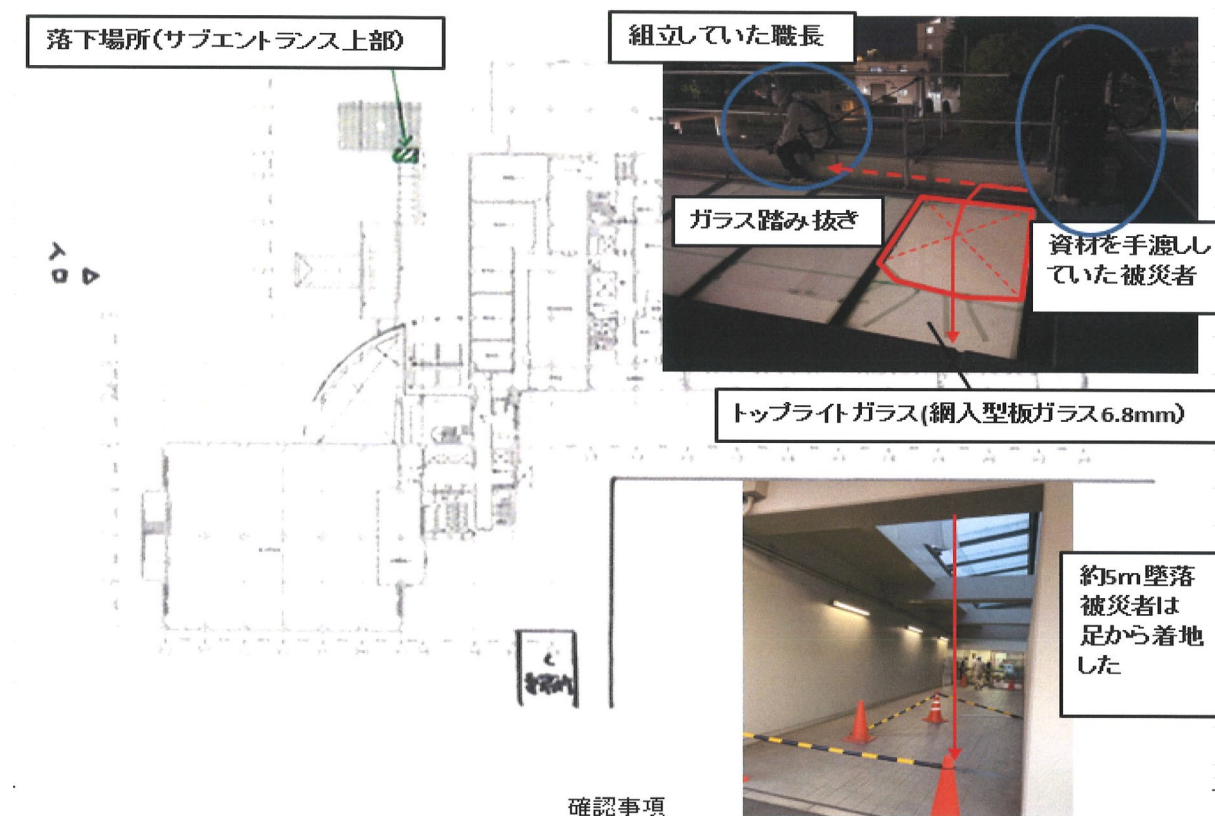
記

1. トップライト及びスレート屋根等に工事関係者を乗せない。
2. トップライト及びスレート屋根等を有する建物については、新築・解体・改修工事
にかかわらず、踏み抜きによる墜落災害に関するリスクアセスメントに基づく適切
なダブルの墜落防止措置を実施させる。
3. トップライト及びスレート屋根等の踏み抜きによる墜落災害防止措置の実施状況を
三現主義（現場で・現物を・現実的に）で確認させる。

(墜 落) 資材運搬中の鳶工がトップライトガラスを踏み抜き約5m墜落

◇ 発生日時： 2022年2月1日 (火) 午後3:55分頃

◇ 被災者： 鳶工 18 歳 (所属 2次) 経験 1年



【発生状況】

サブエントランス上部の2階屋上で、パラペット笠木シール更新のための作業足場(落下防止水平ネット張)を組立中、資材仮置場からパイプ1mを作業場へ運ぶ際に、トップライトガラス(6.8mm網入り型ガラス、1.4m×2.6m)に足を掛けたところガラスが割れて約5m墜落した。

(傷病名： なし) (休業見込日数： 0 日)

(配付先)
関係部門長・支店長
写：部門安全管理総括責任者
部門安全環境部長

示達本(安環安)11-02
平成23年7月12日

安全環境本部長 

トップライト及びスレート屋根等の踏み抜きによる
墜落死亡災害防止の徹底について（指示）

昨日、建屋解体中の作業所において、鳶工がアスベスト飛散防止（煙突養生）用足場組立のため、既存建物の折板屋根上を荷揚げ箇所から足場組立場所に向かって足場材を持って移動中、トップライト（網入波型ガラス、厚さ6.8mm）を踏み抜き約11m墜落し死亡するという災害が発生しました。

当社では、トップライトを踏み抜いて墜落するという災害が平成8年以降、4件発生しており、類似災害としてスレート屋根等を踏み抜き墜落するという災害が5件発生しています（別紙参照）。

つきましては、下記の事項を厳守し、トップライト及びスレート屋根等の踏み抜きによる墜落死亡災害防止を徹底するよう指示します。

記

1. トップライト及びスレート屋根等に工事関係者を乗せない。
2. トップライト及びスレート屋根等の上あるいはその周囲で作業せざるを得ない場合は、踏み抜きによる墜落災害に関するリスクアセスメントに基づく適切なダブルの墜落防止措置を実施させる。
3. トップライト及びスレート屋根等の踏み抜きによる墜落災害防止措置の実施状況を三現主義（現場で・現物を・現実的に）で確認させる。

以 上

1. トップライトを踏み抜き墜落した災害事例

No.	発生年	職種	年齢	勤務 日数	発生状況
1	平成 8	鳶工	17 才	1 日	新築東棟の屋根（折板）上で、外部足場の東面最上部の組替作業のためのSM材を運搬中、採光部トップライト（網入型ガラス）の上に乗るガラスが割れ、約 12 m 下の碎石路盤上に墜落。（両足大腿骨骨折）
2	平成 12	鳶工	23 才	2 日	折板の底（水下GL+5,500）上で明り取り用トップライト横で堅樋取替え用足場を 3 人で解体し、仮設材運搬中、バランスを崩して片足をトップライトに乗せた時、ガラスが破損し墜落。（右肘関節開放骨折、骨盤骨折）
3	平成 14	防水工	40 才	2 日	屋上プール上部トップライトの上でシールの押え（仕上げ）作業中、下段のガラスに移動するため安全帯フックを外し、予め用意した親綱に掛け直そうとした時、トップライトのガラスを踏み抜き、約 8.5 m 下の水が抜かれたプール底に墜落。（肋骨、左手首骨折）
4	平成 17	土工	32 才	1 日	改修工事のため、屋根折板の上に作業用通路の足場板を設置中、近道行動をしようとトップライト（網入りガラス 6.8 mm）に乗った時、ガラスが割れて 6 m 墜落した。（肋骨骨折）

2. スレート屋根等を踏み抜き墜落した災害事例

No.	発生年	職種	年齢	勤務 日数	発生状況
1	平成 8	鳶工	26 才	5 日	解体する倉庫の外部足場上で、倉庫建物解体用養生足場に飛散防止シートを張り終わり点検中に屋根に乗ったため、スレート屋根を踏み抜いて約 7.5 m 下の土間に墜落。（全身打撲、頭部亀裂骨折）
2	平成 15	防水工	21 才	50 日	3 階中庭ガラススレート屋根上で、屋根取合水切の上端シール作業で同僚（職長）の後ろを廻り込んで通り抜けようとした時、押え金物上に足を掛けたが滑り、ガラススレート（網入り 6.8 mm）を踏抜いて一旦根太にぶら下がる状態になって足から墜落。その際、工具袋の中のカッターナイフが背中に刺さる。（右肩骨折、右肺損傷）
3	平成 18	金属工	30 才	2 日	駅ホームで鉄塔作業を終えて、設置してあった梯子から降りようとしたが、他の作業員が梯子を撤去してしまったためやむを得ず、他の場所から降りるためにスレート屋根上を移動中に、踏み抜いて墜落。（頭蓋骨骨折）
4	同上	鳶工	31 才	1 日	解体工事で屋根スレートはがしの作業中、スレートを踏み抜いて 4.3 m 墜落。（左大腿部骨折）
5	同上	建物 解体工	27 才	17 日	屋根スレート下地の木毛板を撤去するため母屋上を歩行中に、母屋のない所を歩き 1.9 m 墜落。（腰打撲）

災害速報

No. 1

部門
部署

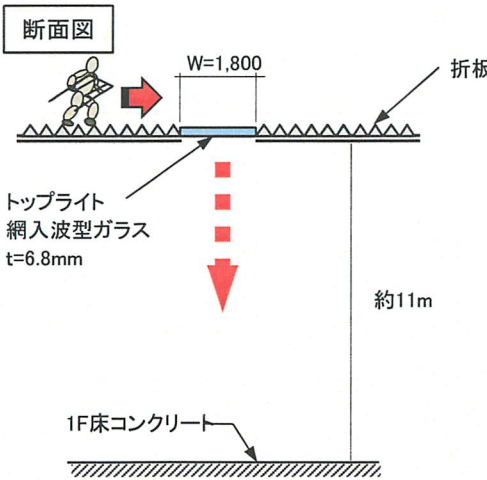
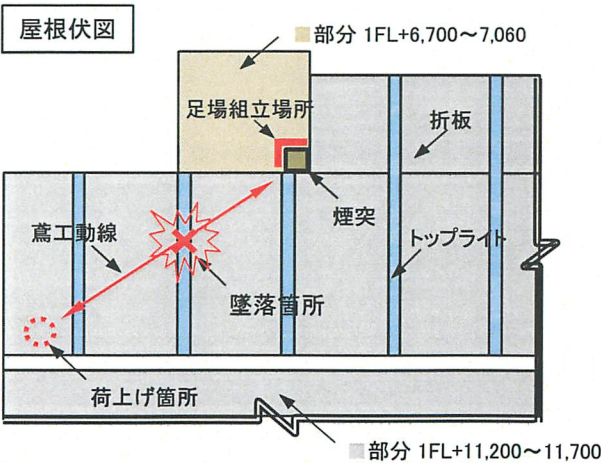
鳶工がトップライトを踏み抜いて墜落

略称

工事場所
工事名称

工期
H23.4 ~ H24.7
請負金 17億円

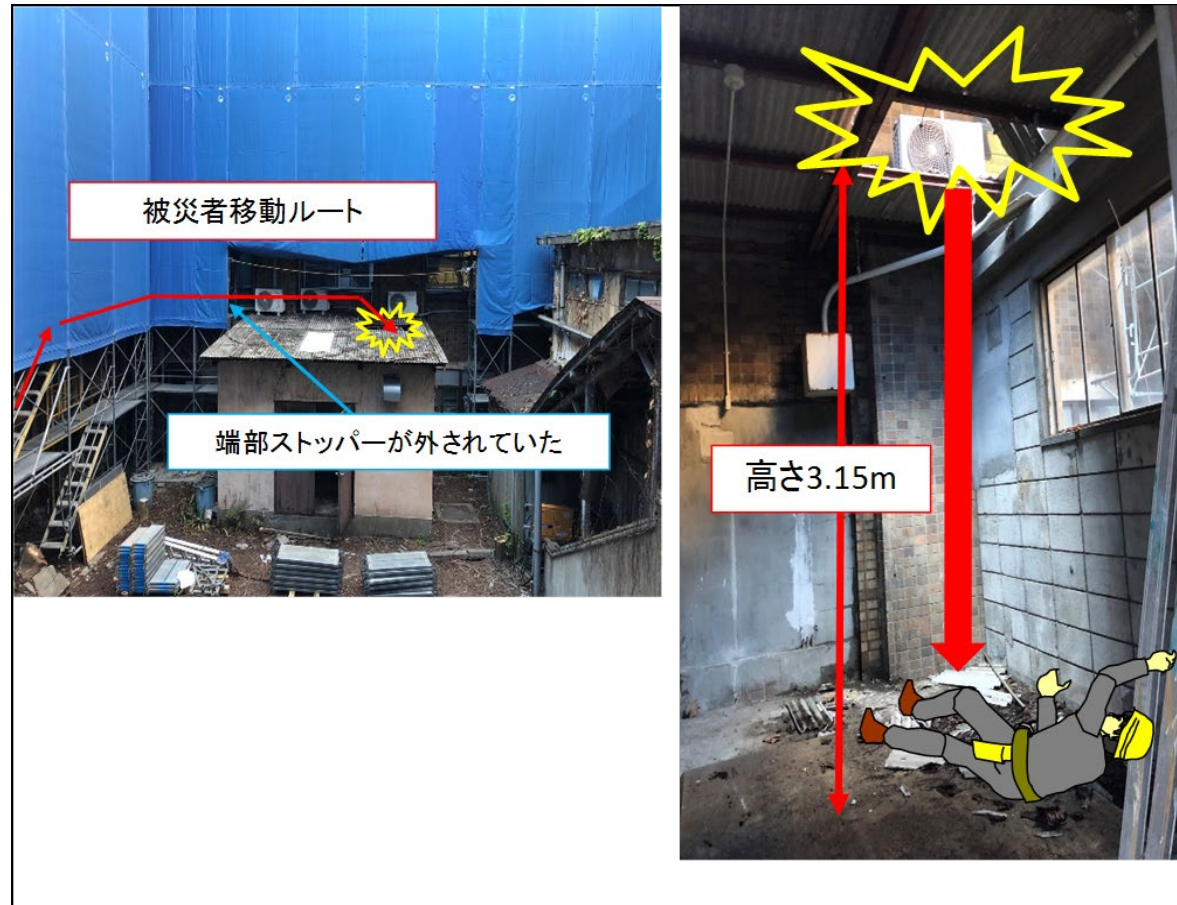
工事長

発生日時	災害・事故の発生状況				経験年数
平成23年7月11日(月) 午前11時40分頃	アスベスト飛散防止用足場(煙突養生)組立のため、既存建物の屋根上を、荷上げ箇所から足場組立場所に向かって足場材を持って移動中に、誤ってトップライトを踏み抜き、約11m墜落した。(12:54 搬送先の病院で死亡確認)				22年
被災者氏名	断面図  屋根伏図  墜落箇所 				作業所勤務日数
(44)才					13日
所属及び職種					当該作業関係労働者数
1次業者					3人 (被災者所属グループの人数を記入)
雇用業者(1)次					家族
職種 鳶工 兼喜会 (加入) 災防協 (加入) 互助会 (加入)	妻				
受傷部位	発注者	JV 状況	病院名		
全身		単独			
工事進捗状況	安全環境本部 (7月11日) 7/11 白田本部長現地調査				
1%	社長	副社長	本部長		

(墜 落) 外部仕上工事で左官工がスレート屋根を踏み抜き墜落

◇ 発生日時： 2021年7月22日 (木) 午後1:20分頃

◇ 被災者： 左官工 84 歳 (2次 一人親方) 経験 67年3ヶ月



【発生状況】

建物の中庭外壁足場で外壁タイル下地補修作業中、左官工がタイル下地補修箇所の有無を確認しようと既存小屋のスレート屋根上部に降りて歩行した際、スレート屋根を踏み抜き約3.15m下へ墜落した。

(傷病名： 骨盤骨折) (休業見込日数： 調査中)